

早期水稲の 台風被害救済

未申告農家へ

10アールあたり
2~4千円弱の

支援

日本共産党鹿児島県委員会の政府要請にこたえる



写真は、農水省に要請する鹿児島政府要請団(場所：国会内)

11月21日、日本共産党鹿児島県委員会は政府要請を行ないました(要請団団長：松崎真琴県議)。
今年7月の台風4号などで生じた宮崎や鹿児島での早期水稲の被害救済では、収穫前に被害を申告しなかった共済加入の農家へ経済支援をすることを表明しました。仁比聡平参議院議員や田村貴昭党九州・沖縄国政対策委員長らが現地を調査し、政府へ要請していたことが実りました。

◎要請団 鹿児島は、規格外米の割合が82・6%を占める著しい不良。今回の被害は、収穫して初めて判明したもので、ほとんどの農家が収穫前に、農業共済制度の被害申告を行っておらず、十分な補償を受けられない。

◎農水省 収穫前に申告した農家へは、規格外米による減収量を加味する特例措置をして共済金を払う。

今回は、稲の倒伏もなく被害の発生が外見上分から

◎要請団 鹿児島は、規格外米の割合が82・6%を占める著しい不良。今回の被害は、収穫して初めて判明したもので、ほとんどの農家が収穫前に、農業共済制度の被害申告を行っておらず、十分な補償を受けられない。

◎農水省 収穫前に申告した農家へは、規格外米による減収量を加味する特例措置をして共済金を払う。

◎要請団 支援の中味は、

◎農水省 これから各共済組合ごとに総代会を開いて決めるが、鹿児島では、未申告農家へ10アールあたり2~4千円弱の支援を考えているようだ。

鹿屋基地での米軍訓練は撤回を(共産党) 訓練の中味は日米協議中で、答えられない(防衛省)

写真左2人目から、赤嶺政賢衆議院議員、山口広延民青同盟県委員長、田村貴昭党九州・沖縄国政対策委員長、柴立俊明鹿屋市議(場所=防衛省)



◎要請団 市長、市議会など地域・自治体ぐるみで反対しており、鹿屋基地の米軍空中給油機部隊の訓練運用は撤回を。

◎防衛省 撤回しない。米軍空中給油機(KC130)訓練について岩国基地から鹿屋、グアムへの「ローテーション」を展開する。

◎要請団 ローテーションの中味は。

◎防衛省 日米協議中で、答えられない。

◎要請団 決まってから押し付けるのはやめよ。(防衛省は答えず否定せず)。

以下、政府の回答要旨を一部紹介します。

【離島の妊婦検診・出産への負担軽減策】

●厚労省 妊婦検診は全国平均が2・8回。5回を基準として改善を指導。

【生活保護者の車所有】

●厚労省 原則は認めてい

ないが、障害者の通勤や通院などでは認めているケースもある。未来永劫認めないという立場でない。自治体から声をきいているところ。

【学校の普通教室のクーラー設置】

●文科省 国庫補助の対象を拡大し、国庫補助は3分の1。従来は、大規模改修

【小中高等学校の校舎の耐震化】

●文科省 耐震化は最優先の課題と認識。国庫補助を3分の1から2分の1に引き上げた。今年度交付税措置を全国へ拡大。

にあわせてであったが、空調単体でも実施できるようにした。